

俳句

森山啓文学賞

しだれ桜

川崎市 坂本 巴

昼寝覚醒せずぎていいのかな

炎昼や一切空といふ教へ

新涼や他人ごとめく遺言書

太陽に挨拶したくなる小春

生きるとは耐えることらし雪割草

